

## ブラジル政府による空調機省エネ性能評価への CSPF 導入に向けた改善の推進を支援するオンラインワークショップを実施しました

### 【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンター (ECCJ) は、資源エネルギー庁の委託を受けてブラジルの鉱山エネルギー省 (MME) との間で二国間省エネルギー人材育成事業として「エネルギー多消費産業と機器類の省エネ推進事業」を実施しています。このうち機器類の省エネ推進に関し、ブラジル政府が空調機の省エネ性能評価に冷房期間エネルギー消費効率 (CSPF)を導入する2020年条例234号の2022年末からの円滑な執行を支援するための基盤整備に資するオンラインワークショップを行いました。同条例は経済省・国家度量衡工業規格化品質研究院 (INMETRO)が ISO 16358-1 CSPFを導入するために発出し、この執行に必要な基盤整備に寄与するTraining of Trainers (TOT)を実施することをMMEと合意し、第1次TOTを2022年2月に完了しました。本ワークショップは、第1次TOTを通じ具体化された改善の各機関による実現を推進するために開催しました。

### 【成果】

第1次TOTを修了した21名の先導人材が策定した計画に従い下記改善を着実に進めている事を確認し上記条例の円滑な執行を見通せました。

- 2か所の空調機の基幹試験機関(\*)による試験施設などの改善と標準試験マニュアルの作成。
- 鉱山エネルギー省 (MME) 及び経済省・国家度量衡工業規格化品質研究院 (INMETRO)による空調機に係るStandard and Labelling (S&L) 制度の改善

先に策定された改善計画に加え以下の更なる改善が実現されていた点を特筆する。

- ▶ LABELO PUCRSが新規に60,000 Btu/hまでの空調機を試験できるカロリメーター方式の試験設備に投資し現在建設中である。
- ▶ CSPF導入の具体的な執行のため、2021年条例269号が発出されその更なる改正のため2022年に条例179号及び230号が発出され、条例整備が進展した。

加えて、これらの改善を仕上げ更なる制度整備や試験実施を先導する人材の育成を推進するため今年度実施する活動の計画を協議し確認することができました。

本事業の活動を通じた着実な改善が上記条例の円滑な執行を実現し、同国市場でインバーターエアコンの普及による効率化を進展させ、同国の電力消費量削減と温室効果ガス排出量削減に寄与するものと期待されます。

(\*) 電気エネルギー研究センター (CEPEL)とエレクトロニクス専門研究所 (LABELO PUCRS)

### 【実施内容】

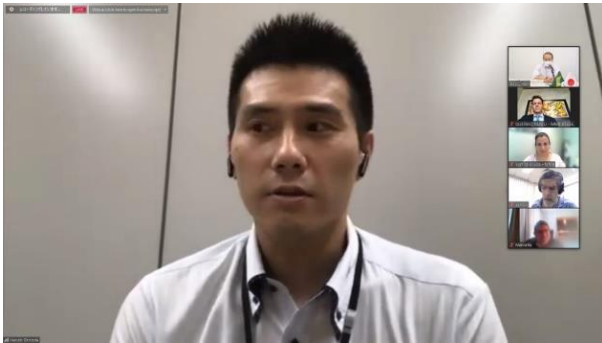
上記条例の執行が間近となり、一方COVID-19感染の影響や両国間の大きな時差によりOnline Follow-up Workshopを開催し次の活動を行った。

- 1) 改善計画に従う、基幹試験所の施設等や上記条例執行に係る政府機関による空調機に係る制度整備の進捗確認と課題の協議し解決に向けた助言の提供。
- 2) 着実に改善を進めCSPF導入制度が円滑にまた持続的に機能するために今年度実行する活動と実施計画の内容に関する協議と確認。

ブラジル側はMME、INMETRO、電力公社(Eletrabras)、CEPEL及びLABELO PUCRSから、一方日本側は資源エネルギー庁、一般財団法人日本空調冷凍研究所 (JATL)及びECCJから合計19名が参加しました。冒頭資源エネルギー庁の篠田係長から本事業を方向付ける挨拶をまたMMEのDirectorであるMr. Gustavo Santos Masiliから今年度の活動をKick-offする挨拶をして頂き、改善進捗を共有した上で活発な議論を交わし日本側から必要な助言を提供しました。

今後、合意した実施計画に従いブラジル側と計画を詳細化して、対面活動を始めとする活動を新型コロナウイルスの感染防止策を講じオンラインでの手段も活用して実行する予定です。

## 参加者写真



METI-ANRE 省エネ新エネ部・国際室 篠田係長



MME Director Mr. Gustavo Santos Masili

## 参加者全体



他に2名参加しているがカメラのトラブルなどで表示されていない。